

# えん罪・仙台北陵クリニック事件 千葉刑務所 守大助さん面会記



## 4月24日（水）

月に1度の楽しみな面会。  
大助さんも話したい事いっぱいあるはずなのに、いつも私の愚痴を聞いてくれます。  
本当に優しい人だと改めて実感しました。  
もっともっとたくさん話せたら…  
たくさん話せる時間があつたら。  
お互いの事をもっといっぱい話したいのにいつもすぐに時間になってしまう。  
「平成最後だね」と言う大助さんのちょっと淋しそうな顔。  
「令和はきっと良い年になりますよ」私は心からそうなる事を祈っています。

佐々木直美さん



岩阪さんと添田さん

## えん罪・仙台北陵クリニック事件とは

守大助さん(当時29歳)が当時勤務していた医療法人北陵クリニックに於いて患者5人の点滴に筋弛緩剤を混入したとして2001年に逮捕。仙台地裁・高裁・最高裁で「無期懲役」が2008年2月に確定。同年7月から千葉刑務所に服役中。大助さんには動機がなく、患者の容体急変は筋弛緩剤の薬理効果と矛盾しており、科学鑑定でも否定されている。試料は鑑定時に全量消費・廃棄され、再鑑定ができない。

2012年2月10日仙台地裁に再審申立をし、2014年3月25日に再審棄却される。仙台高裁に即時抗告を行うが2018年2月28日棄却される。3月5日最高裁に特別抗告を行う。

## 面会の感想 4月19日（金）ご両親

私自身、数日前から微熱が続いていたが面会に、前回の3分咲の桜は葉桜に、その中から平成最後の桜一輪が舞い散るようにひらりと肩に落ちてきました。微熱が気づかれないように元気をよそおいお互いに安否確認元気でした。全国の行事など一気にメモを見ながらメッセージ等忘れないように伝えたと、時間は十分あるからと笑われる。外部との通信手段が唯一の息子にとっては郵便物や月1回から2回の楽しみにしている嗜好品の値上がりも予想されるようで困惑しておりました。

狭い部屋で孤独に暮らしている息子が努めて明るく振る舞っている姿が不憫でなりません。心の片隅に年号の改変のどさくさにまぎれて不当な決定が出されるのではないかと気に掛けてはいる様子でした。まもなく来る令和の新時代に本当の春が来るよう祈りながら帰宅したところ地元は満開の桜でした。



激励先〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さん宛 2019年 129号

● 5月は中旬にメール等でお知らせします。救援会神奈川県本部に問合せ。

□面会申込み/□ 国民救援会神奈川県本部 Tel050-3310-1368 fax045-663-7953。

E mail-kyuenkai-k1@clock.ocn.ne.jp 発行/国民救援会千葉県本部 Tel043-239-7730 fax043-239-7740

面会感想にご協力をください。千葉県本部へ E-mail kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp



#### 4月22日(月)神奈川の会 岩坂さん、添田さん

天気も良い日でした。午後13時に千葉刑務所に神奈川の会の添田さんと岩坂で大助さん面会に行きました。面会時間は30分。添田さんは長年、激励、差し入れで大助さんの支えになってきた人。私は今回が初めて。何をどう激励していいやら。お会いするのも初めてですから、今回は自己紹介、その上で、どんな暮らしをされているのか伺おうと。

私は若い時の写真でしか大助さんを知らず、柔和な笑顔に争うことが好きでない、その人柄を伺わせる雰囲気印象的でした。(様々な記録からもそれは伺えた人)

ご本人から「もう48歳になってしまいました。一日も早く親の元気なうちに帰りたい」との言葉に・・・私の48歳の時に重ね合わせ、ああ、この歳には孫が出来たな・・・そのことに対比させ、その悲運、おかれた境遇にただただ、一日も早く冤罪を晴らすことに繋がる運動をしなくてはと思いました。面会終了間際の次の言葉は心に残り引かかるものがありました。

「多くの受刑者に支援者がいない中、私は多くの支援者の方がいて幸せだ」「刑務所は自分の罪を償い人としてのあり方を磨くところのはず、多くの受刑者を見ていると必ずしもそうっていない。」「裁判官は本当にわかってくれない、馬鹿だ。悔しい」と。私は「僕はやっていない!」守大助勾留日記、「つくられた恐怖の点滴殺人事件・守大助さんは無実だ」とか、公判資料、新聞等を通して無実の確信をもっているだけに、「裁判官は本当にわかってくれない、馬鹿だ。悔しい」との気持ちは痛いほどわかりました。日々の生活の様子を伺ったところ

- ◆朝は5時起き、様々な日常の生活音で寝坊をすることは無い。
- ◆5時30分から仕事・・・今は受刑者の食事作りが仕事。千人もの食事づくりには少人数と違い苦労することがあるとのこと。辛し和えなど辛しを一変に2キロもするので、強烈に鼻をつき涙を出しながらやっているとのこと。 ※正月の食事づくりはおせちで、そんなに大変ではないと。
- ◆7時に朝食。以前、私語は厳禁だったが、多少は大丈夫とのこと。その後の食器、釜の洗浄・・・10時に15分の休憩◆12時から昼食。12時30分から13時まで軽い運動
- ◆13時から片付け洗浄15時には15分の休憩 16時20分迄仕事
- ◆17時に仕事終了、でも大抵、残業が17時30分から18時までであるとのこと。
- ◆18時40分から15分の入浴 ◆21時就床

お腹は空きませんかとの問いに、今は体がそれを受け入れている。大丈夫。夜は仕事で疲れているのでぐっすり寝ることが出来る。休みは平日も、夜は本を読んだり雑誌に目を通したりして過ごしているとのこと。

千葉にきて助かったことは寒さが厳しくない、ホカロンも月に日数分もらえる。暖かい日は使わず、寒いときに備えて調整して使ったと。ただ、夏の暑さには参ることがあったと。30分で又、お会いしましょう。何かしら励ましになったのかと自問自答しつつ。「裁判官は本当にわかってくれない、馬鹿だ。悔しい」との言葉が様々な意味において、心に残り引かかったそんな大助さんとの面会でした。



### 守大助さんの再審開始を求め支援を

私たちは冤罪「北陸ク」の間に最高裁に集議も検討中です。またリニック事件で、無実 届けた署名は約7万5千を訴えながらも無期懲役 0.0筆。引き継ぎ、あの 開審に向けた世論を盛り 囚となった守大助さんの 要請のよりにまひえ立つ 上野の集議会にしたい 再審(裁判のやり直し) 運動を呼びかけたいと 再審をめぐらしている 運動をめぐらしたいと考 大助さんの支援者組 ています。3月25日の 織(守る会)は、全国に 請に北野道や西園など 46組成されています。こ 各組から30人以上が だけの数の「守る会」 つは、ご両親も参加。お があるのは珍しく、それ 母の守る会さんは、 だけ多くのみなさんが夫 のように想いを伝えています。 助さんの無実を信じてい た、

「要請書に」としては 全国の「守る会」の方 つの事件がもしもせ 幸福し、運動を盛り上 げることが出来れば、 母が、恩の身に在れば けるために結成されたの 度の輝く人生です。無 現在、再審開始を求め りを持つて聞いている 署名集め、最高裁判所 が、夢の中で、父さん、 への要請に月を入れてい 母さん、僕は絶対やっ います。必ず動かすから います。

大助さんの再審請求は 昨午月に仙台高裁で棄 却され、最高裁に再審が 移って1年以上が経ちま

新しい参加 団体の紹介  
**「仙台北陸ク」リニック事件全国連絡会**

4月15日付母親新聞  
 (徳島の会佐藤さんより)

仙台北陸クリニッ 件全国連絡会  
 長瀬 慎